研究機関名：東北大学

受付番号：	2010-553
研究課題名	前立腺全摘術のリスク別成績に関する多施設共同研究
研究期間	西暦 2011 年 3 月（倫理委員会承認後）～2016 年 2 月
対象材料 □病理材料（対象臓器名　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料　□遊離細胞　■その他（　　診療記録　　） 上記材料の採取期間　西暦 2000 年 1 月～　2009 年 12 月	
意義、目的 前立腺癌は局所限局癌でも治療の必要のない臨床的に意義のない癌から悪性度が高く生命予後に影響する可能性のある局所浸潤癌まで多様な癌が存在する。そのため診断時の PSA(前立腺特異抗原)や生検による組織学的悪性度、臨床病期に基づくリスク分類を行い、そのリスク分類に基づき治療法が選択されるが、このリスク分類が適切に患者の治療成績を反映しているかについては十分な検証が行われていない。そこで本研究では前立腺全摘術を施行した症例の治療成績をリスク別に解析し、リスク分類の妥当性を検証するとともに、各リスク群においてどのような症例が手術によるベネフィットを受けることができるか解析することを目的とする。	
方法 2000-2009 年の間に東北大学泌尿器科・弘前大学泌尿器科・秋田大学泌尿器科・宮城県立がんセンターにおいて前立腺癌に対して前立腺全摘術を受けた患者を対象に、術前の背景(年齢・PSA・Gleason score・臨床病期・リスク分類など)や治療成績（病理結果・再発・生存の有無）の情報を診療録からデータを収集し個人情報を匿名化した上で、局所限局性前立腺癌のリスク分類に基づいて治療成績に関する解析を行う。術前に前立腺に対する治療を施行されている症例は除外する。本研究では東北大学泌尿器科が研究の総括を行う。	
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学泌尿器科：三塚浩二 住所：宮城県仙台市青葉区星陵町１－１ 電話番号：022-717-7278	